

団体名:ひょうたん寺子屋実行委員会

活動名:「勉強ってホントは楽しい!ひょうたん寺子屋へ来て、 まずは宿題・課題からやってみよう」

日時:令和元年 8月21日(水)・28日(水) 18時00分 ~ 20時00分
場所:中村公園記念館(名古屋市市中村区中村町)

◆団体の紹介◆

地域の有志と高校生を中心とした学生ボランティアが連携し「寺子屋(私設の学習の場)」を、学校の長期休暇に開催し子どもたちの学習支援をすることで、経済面や家庭環境で格差のない学習環境づくりと、不登校や非行の防止、学んだ子ども達が高校生、大学生、大人になった時に支える側となるように「地域コミュニティの循環」を目指し活動している。

■活動の内容■



「ひょうたん寺子屋」は、中村区の出生である戦国武将「豊臣秀吉」の馬印である「ひょうたん」にちなみ名付けられた活動です。

中村公園内にある加藤清正没 300 年を記念して愛知県が明治 43 年に迎賓館として建築した歴史ある建物「中村公園記念館」で行われました。

夏休みも、残りあとわずかとなる 8 月の第 3、第 4 水曜日の夜、「中村公園記念館」の和室には、地域の小学生とほぼ同じ数の高校生を中心とした学生が集まっていました。

この活動は、子どもたちがまだ終わっていない夏休みの宿題のドリル、読書感想文、図画工作など教材を自由に持ち寄り、少し年上の高校生を中心とした身近な存在となる地域のおにいさん、おねえさんが宿題のサポートをするのが「ひょうたん寺子屋」の活動内容です。

開催のために苦勞したのは、高校生、大学生のボランティアの負担軽減と、サポートの質を高めるためにもマンツーマンに近い人数を集めることを目標にしているのですが、その学生も長期休みはアルバイトなどで忙しいため人員確保が難しかったとのことでした。



この活動の本当のコンセプトは、単に夏休みの宿題の手伝いや学習塾のように「学習支援」するものではなく、「学習の支援」を通じて、小学生の子どもたちが、高校生や大学生の次の世代になったときに、教える側になること、学生が大人になった時に「人と人の繋がり、世代交流、地域のコミュニティ」が続いていくことを目標としているとのことでした。

参加してくれた学生には、団体の皆さんが作ったボランティア活動証明書が発行され、この活動で得たものを、社会人になった時に活かして欲しいという想いが伝わる活動でした。